

科目ナンバー	ARS-3-018-k			科目名	地域と観光		
教員名	岡井 宏文			開講年度学期	2020年度 後期	単位数	2
概要	近年、観光をいかしたまちづくりが盛んとなっています。国内外からの交流人口を増加させる観光は、地方創生の柱と目されています。一方、各地で様々な取り組みがなされてはいるものの、課題も多く示されています。果たして、地域の活性化と観光の両立や共生は可能なのでしょうか。本科目では、15回に渡ってこの問いについて考えていきます。具体的には、観光の歴史・理論、観光のインパクトと持続可能性、観光地のアクターごと／アクター間の相互作用、社会的・文化的背景、地域社会の幸福度、持続可能性と着地型観光といったトピックスを学び、地域と観光を巡る課題を多角的に読み解いていきます。これらの知識をもとに、最終的には、実際の地域を分析し、持続可能な観光を構想・提案することを試みてもらいます。						
到達目標	この授業で身につけてもらいたいと考えている事柄は次の通りです。①観光学の成果を踏まえつつ、現代における観光の役割や機能を説明できる。②観光が社会(地域)に与える影響を分析する事が出来る。③上記をもとに、自らの関心に基づいて地域と観光についての意見を表明することが出来る。						
「共愛12の力」との対応							
識見	自律する力			コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識	○	自己を理解する力	○	伝え合う力	○	分析し、思考する力	○
共生のための態度		自己を抑制する力		協働する力	○	構想し、実行する力	
グローバル・マインド	○	主体性		関係を構築する力		実践的スキル	
教授法及び課題のフィードバック方法	①パワーポイントや各種資料をもちいた講義形式の授業に加えて、履修者数によっては②配布資料や映像資料を活用したグループワークなどのアクティブラーニングを取り入れる予定です。観光と社会との関係性を読み解く上で必要となる観光学の知見を習得するとともに、習得した知識を材料として教員や受講者同士での議論を行い考察を加えることで、実践的に理解を深めていきます。毎回授業のはじめに前回の内容の復習と質問への応答を行います。						
アクティブラーニング	○	サービスマーケティング		課題解決型学修			
受講条件 前提科目	「観光概論」を受講済であることが望ましいですが、特に定めません。議論や課題など授業に積極的に取り組んでください。						
アセスメントポリシー及び評価方法	成績評価は、次の配分にて行います。 授業への参加態度：出席状況、授業での発言、グループディスカッションなどへの参加度・貢献度、課題の提出状況(50%) 期末課題：期末レポートの提出(50%) 以上から、総合的に評価します。						
教材	毎回資料(レジュメないしスライド)を配布します。予習復習のための資料を適宜提示します。						
参考図書	橋本和也2018『地域文化観光論』,ナカニシヤ出版。 遠藤英樹・須藤廣『観光社会学2.0: 拡がりゆくツーリズム研究』,福村出版。 遠藤英樹・橋本和也・神田浩治編著『現代観光学—ツーリズムから「いま」がみえる』新曜社,2019年。 ジョン・アーリ,加太宏邦訳1995『観光のまなざし—現代社会におけるレジャーと観光』,法政大学出版会。 ジョン・アーリ,ヨナス・ラースン,加太宏邦訳2014『観光のまなざし増補改訂版』,法政大学出版会。 橋本俊哉編著『観光学全集第4巻 観光行動論』原書房, 2007。 吉兼秀夫ほか『地域創造のための観光マネジメント講座』学芸出版社, 2016。						
内容・スケジュール							
1週目							
授業学修内容	イントロダクション：地域と観光を考えるために 上記に加え、授業の概要と到達目標、スケジュール、評価方法、関連資料等についてシラバスに基づき解説する。						
授業外学修内容	講義の最後に課題を提示します。 次回の授業内容に関する資料を読み込み、関連記事の検索を行う。検索した記事は次回の授業に持参すること。					時間数	2
2週目							
授業学修内容	近代化と観光						
授業外学修内	授業の最後に宿題を提示します。						

容	次回の授業内容に関する資料を読み込み、各自注目したポイントを整理する。	時間数	2
3週目			
授業学修内容	現代の観光を俯瞰する		
授業外学修内容	授業の最後に宿題を提示します。 次回の授業内容に関する資料を読み込み、各自注目したポイントを整理する。	時間数	2
4週目			
授業学修内容	観光動因：旅へのモチベーション		
授業外学修内容	授業の最後に宿題を提示します。 次回の授業内容に関する資料を読み込み、各自注目したポイントを整理する。	時間数	2
5週目			
授業学修内容	観光者の類型		
授業外学修内容	授業の最後に宿題を提示します。 次回の授業内容に関する資料を読み込み、各自注目したポイントを整理する。	時間数	2
6週目			
授業学修内容	観光のまなざしとメディア		
授業外学修内容	授業の最後に宿題を提示します。 次回の授業内容に関する資料を読み込み、各自注目したポイントを整理する。	時間数	2
7週目			
授業学修内容	地域と観光をめぐる立場の整理		
授業外学修内容	授業の最後に宿題を提示します。 次回の授業内容に関する資料を読み込み、各自注目したポイントを整理する。	時間数	2
8週目			
授業学修内容	持続可能性を考える		
授業外学修内容	授業の最後に宿題を提示します。 次回の授業内容に関する資料を読み込み、各自注目したポイントを整理する。	時間数	2
9週目			
授業学修内容	地域社会とまちづくり①：由布院から考える		
授業外学修内容	授業の最後に宿題を提示します。 次回の授業内容に関する資料を読み込み、各自注目したポイントを整理する。	時間数	2
10週目			
授業学修内容	地域社会とまちづくり②：由布院から考える		
授業外学修内容	授業の最後に宿題を提示します。 次回の授業内容に関する資料を読み込み、各自注目したポイントを整理する。	時間数	2
11週目			
授業学修内容	地域とインバウンド観光		
授業外学修内容	授業の最後に宿題を提示します。 次回の授業内容に関する資料を読み込み、各自注目したポイントを整理する。	時間数	2
12週目			
授業学修内容	地域の魅力を活かす：着地型観光とDMO		
授業外学修内容	授業の最後に宿題を提示します。 次回の授業内容に関する資料を読み込み、各自注目したポイントを整理する。	時間数	2
13週目			

授業学修内容	観光を構想する①: 地域を分析する		
授業外学修内容	授業の最後に宿題を提示します。 指定された地域に関する情報を文献・資料をもとに調べ「強み」と「弱み」、「どちらともいえないもの」に整理し、まとめる。	時間数	4
14週目			
授業学修内容	観光を構想する②: 地域の分析をもとに持続可能な観光を構想する		
授業外学修内容	授業の最後に宿題を提示します。 次回の最終発表に向け、地域の分析及び観光構想をまとめるとともに、プレゼンテーション用資料を準備する。	時間数	4
15週目			
授業学修内容	観光を構想する③: 最終プレゼンテーション		
授業外学修内容	授業の内容を復習し、資料および関連図書を読み込みながら、自らの考えをまとめる。	時間数	4
上記の授業外学修時間の合計		36	
その他に必要な自習時間		54	

Number	ARS-3-018-k	Subject	Tourism and Regional Development			
Name	岡井 宏文 (Okai Hirofumi)	Year and semester	S	Second semester for 2020	Credits	2
Course outline	<p>Today, tourism is increasingly seen as a means to facilitate local development. As the number of tourists, both domestically and internationally, increase, so does the possibility of interaction between them and local residents. Thus, it is without surprise that tourism is seen as a pillar of local development. However, it is also true that local residents now face a plethora of problems associated with it. Is there a healthy balance of revitalizing local communities and welcoming tourism with wide open arms? In a total of 15 classes, we will examine how this pressing question can be answered. We will first study sociological and anthropological theories and viewpoints to understand how tourism influences societies and produces cultures. After an adequate understanding of the relation of tourism and society (local community), we will then look at problems and its possible solutions through examining examples of “local developments” and problems they face. Ultimately, students are required to conduct a presentation regarding sustainable tourism which can solve social challenges in a local community.</p>					